

身体障害者補助犬の質の確保と受け入れを促進するための研究（補助犬の衛生管理）

研究分担者 水越 美奈 日本獣医生命科学大学獣医学部獣医保健看護学科 教授

#### 研究要旨

本研究では、2年計画の2年目として、身体障害者補助犬（盲導犬、介助犬、聴導犬）の質を確保し社会での受け入れを一層進める目的として、1年目に行った補助犬訓練事業者へのヒアリング調査や文献、併せて家庭犬の衛生管理の現状から、現行のガイドラインの問題点を抽出した上、補助犬が社会に受け入れるために必要な衛生管理と行動管理を具体的に示し、これらを補助犬訓練事業者が行うべきことと使用者が行うべきことに分類し、それらの根拠と背景、さらに補助犬訓練事業者が使用者に対して補助犬の衛生管理を具体的に指導することができるような手引きを作成し、全ての補助犬育成事業者および認定法人に配布した。

#### A. 研究目的

身体障害者補助犬（以下、補助犬）の質を確保し社会での受け入れを一層進めるためには、飼養者に対して補助犬の衛生管理や行動管理が求められ、これらについては身体障害者補助犬法（第13条、21条、22条）にも示されている。具体的な指標として、平成13（2001）年度に厚生労働科学特別研究において「身体障害者補助犬の衛生確保のための健康管理ガイドライン」が作成されたが、前年度の研究により、このガイドラインは活用する主体を補助犬使用者と獣医師としているものの、双方が行うべき対応等が明確に区分されていないことがわかった。補助犬の衛生や健康の確保のためには、補助犬育成事業者がこれらに対して正しい理解をしたうえで使用者へ指導し、使用者は適切な衛生管理を行うことが必要である。これらを実施できることを目的として、訓練事業者と使用者に向けた具体的な手引きを作成することとした。

#### B. 研究方法

- 1）現行の「身体障害者補助犬の衛生確保のための健康ガイドライン」を参考に項目を抽出する。
- 2）前年度のヒアリングや文献検索、最近の新興感染症などの報告を参考に追加項目を検討する。
- 3）1、2で挙げた項目の情報について、研究協力者（日本介助犬協会事務局長であり医師の高柳友子先生、帝京科学大学アニマルサイエンス学科

准教授であり大阪府獣医師会会長の佐伯潤氏）に項目の妥当性について意見を伺い、これらの項目を選択した根拠や管理の方法について、国内外の文献検索を行う。

- 4）1～3を基に、手引き（案）を作成する。
- 5）作成した手引き（案）について、前年度にヒアリングを行った訓練事業者（盲導犬、介助犬、聴導犬）、研究協力者、補助犬使用者（盲導犬、介助犬、聴導犬より各1名）、厚生労働省担当（関連職員によりご意見をいただく。
- 6）最終案を作成し、同様にチェックをいただいた後、編集と印刷を行ない、訓練事業者、認定法人等、関係各所に配布する。

#### C. 研究結果

作成した手引きについては、現行のガイドラインの項目にカプノサイトファーガ感染症などの新興感染症や、ブルセラ感染症、遺伝性疾患等の補助犬候補犬の繁殖について、さらに使用者からの希望も考慮し、熱中症などについての管理を追加記載した。また補助犬育成事業者と使用者がそれぞれ実施すべき項目を分け、さらに使用者の管理能力を配慮し、『補助犬使用者及び訓練事業者のための補助犬衛生管理の手引き 第1版』としてまとめた。

#### D. 考察

身体障害者補助犬法で補助犬の衛生確保や行動管理についての条文があるにもかかわらず、今まで、それらについて具体的に実施するための項目や指針についてまとめられたものがなく、訓練事業者が独自に行っていた。衛生管理や行動管理、そして候補犬の選択や健全な繁殖は、補助犬が社会で受け入れられるために必要である。今回、訓練事業者や使用者が行うべき手引きを作成したことで、補助犬の衛生管理が向上し、課題となっている補助犬の受け入れが一層促進されることを願う。また今回の手引きは「第1版」としたが、今後さらに必要となる項目を増やしたり、内容を改善するなど、継続して改訂版を作成していきたいと考えている。

## **E. 結論**

今回の研究の主課題である『身体障害者補助犬の質の確保と受け入れの促進』には、衛生管理や行動管理、候補犬の健全な繁殖（または健全な選択）は欠かせない。適切な指導や支援をするための情報提供については常にアップデートする必要があると考える。

## **F. 研究発表**

### 1. 論文発表

なし

### 2. 学会発表

なし

## **H. 知的財産権の出願・登録状況**

特になし。発表した『補助犬使用者及び訓練事業者のための補助犬衛生管理の手引き 第1版』に関しては、クリエイティブ・コモンズ（CC BY-NC-ND 表示—非営利—改変禁止）ライセンスの下でライセンスされるようにした。

<https://creativecommons.org/licenses/by-nc-nd/4.0/deed.ja>